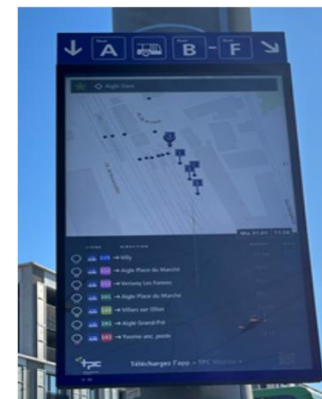


○ 背景と目的

- 交通政策基本法の第三条第一項においては、「交通に関する施策の推進は、（中略）急速な少子高齢化の進展、人口の減少その他の社会経済情勢の変化に対応しつつ、（中略）我が国の産業、観光等の国際競争力の強化並びに地域経済の活性化（中略）に寄与する」とあり、地域公共交通を取り巻く厳しい現実を指摘しつつ、観光振興や地域経済の活性化を交通政策の目標に掲げている
- 2022年度に実施した「地方都市圏におけるモード横断的な公共交通の財務と運営に関する調査研究」の調査のうち、地域鉄道を軸としたモード横断的な公共交通によって、観光振興を図り、地域住民の足の確保に成功しているスイスの事例について整理する。これにより、我が国の今後の地域公共交通政策の推進に役立つ知見を明らかにすることを目的とする。



▲時刻表等の情報掲示は全国的に標準化されている。



▲バスターミナルが鉄道の真横に設置され乗り換え利便性が高い。

○ 調査結果

1. スイスの公共交通機関における工夫

- パターンダイヤ
 - 全土の共通料金システム
 - 情報システム
- パターンダイヤやインフラ投資等を組み合わせ利便性を向上「1旅程、1チケット、直通運転」を法律で義務化等公共交通の運行データや掲示方法を全国的に標準化等

2. スイスの鉄道における財務

- インフラに関しては、鉄道インフラファンド法（LFIF）に基づき、鉄道インフラファンド（Bahinfrastrukturfonds）から拠出。長期的視点を重視するため、拠出金やスキームを（単年度予算ではなく）4年周期で決定するように変更（2014年）がなされた。
- 運営補助金に関しては、公共交通運営に要する計画コストと予定収入との差額（計画未達コスト）を鉄道運営事業者に対し支給する。支給は2年ごとに行われ、その都度、要件充足確認が行われる。

3. 公共交通機関の先進的な取組（レーティッシュ鉄道、シャブレー公共交通）

- レーティッシュ鉄道は、主要都市を結ぶ路線等を利便化する「Retica30」を取り上げた。
- シャブレー公共交通は、観光チケットである「マジックパス」やデマンドバス等を取り上げた。

タクトダイヤ

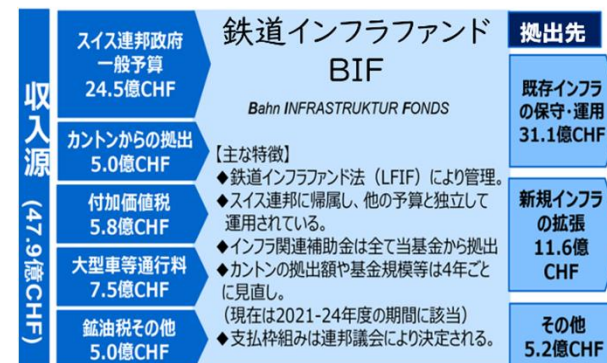
パターンダイヤ

乗り継ぎ時間の最適化

異業者・異モード間の連携

インフラ投資等

▲パターンダイヤやインフラ投資等を組み合わせ利便性の高いタクトダイヤを実現している。



(出典) Office fédéral des transports 提供資料, LITRA/Verkehrszahlen Ausgabe 2022より作成

※図中の「基金」はBIFを指す

▲鉄道インフラファンドの財源と拠出先